

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年11月4日

2003年11月2日現在

全州で気温が下がり、降雨が記録された。2004年産の冬小麦が播種された後、初めての降雨と言える。11月2日に終わる週の最高気温は、北中央地区（NC）では60～71度F、最低気温は-1～-10度F迄下がった。北東地区（NE）の最高気温は56～62度F、最低気温は4～-4度Fであった。1週間の降雨量は多い所で1.51インチを記録したが、凡そ0.3～0.7インチであった。この1週間の州平均農作業稼働日数は2.6日（前週：6.7日）であった。

土壌水分は大幅に改善した。

冬小麦の播種は全州で略完了した。昨年、並びに平年の進捗状況であった。出芽は昨年並びに5年平均より早く進み、全州の84%（昨年：80%、平年：77%）の圃場で出芽した。前週までの高温が出芽を促したが、土壌水分特にSubsoilの水分が低く根の発育が悪く、冬明け時の幼苗の発育を心配する農家が多い。

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	32	62	N/A	N/A
Short (%)	45	35	N/A	N/A
Adequate (%)	22	3	N/A	N/A
Surplus (%)	1	0	N/A	N/A

Subsoil

Very short (%)	71	67	N/A	N/A
Short (%)	26	28	N/A	N/A
Adequate (%)	3	5	N/A	N/A
Surplus (%)	0	0	N/A	N/A

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2004 Winter wheat				
Seeded (%)	99	99	99	98
Emerged (%)	84	80	80	77

Source: Montana Agricultural statistics Service

当該レポートを持って、週間報告は最終とし、次号は2004年4月に再開する。それまでの間、毎月一度気象の月間概況を報告する。

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>